光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

サイラムザ+FOLFIRI 療法

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

がん種（適応）	大腸癌		
開始年月日	年　月　日	1 コース期間	14　日間
体格	身長　cm　体重　kg　体表面積　㎡		
嘔気・嘔吐リスク	中等度	制吐剤	パロノセトロン注 +デキサート注 6.6mg
特記事項 （サイラムザ）	※【投与時間】 初回は 2 時間、2 回目は 1 時間、3 回目以降は 30 分まで短縮可		
特記事項 （イリノテカン）	・遺伝子多型（複合ヘテロ及びホモ）では減量を考慮 複合ヘテロ：(*6/*28)　ホモ：(*6/*6)(*28/*28)		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
サイラムザ	mg（8mg/kg）	※	Day1
イリノテカン	mg（150mg/㎡）	2 時間	Day1
レボホリナート	mg（200mg/㎡）	2 時間	Day1
5-FU（急速静注）	mg（400mg/㎡）	15 分	Day1
5-FU（持続静注）	mg（2400mg/㎡）	46 時間	Day1

【処方が必要な内服薬】

マグミット 330mg　1 回 2 錠　1 日 3 回毎食後　/3 日間
ｳﾙｿﾃﾞｵｷｼｺｰﾙ酸錠 100mg　1 回 1 錠　1 日 3 回毎食後　/3 日間
炭酸水素ナトリウム錠 500mg　1 回 1 錠　1 日 3 回毎食後 2 時間　/3 日間
レスタミン錠（10）5 錠　サイラムザの 30 分前

□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
□HBs 抗原(−) → □HBs 抗体(−)and HBc 抗体(−)
□HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+)
□HBV-DNA 定量(−) → 3 ヵ月毎 定量
□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン＿＿＿＿＿＿＿＿